

質問回答

平成 25 年 5 月 10 日

「(案件名) セネガル国ダカール州郊外中学校建設計画準備調査」

(公示日:平成 25 年 4 月 10 日/公示番号: 5)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1.	業務指示書別紙第 2 7.成果品等	英文との指定ですが、現地公用語である仏語版の作成は不要との理解でよろしいでしょうか。仮に、仏語版を作成する場合は仏語訳費用(和文から仏語)の計上は認められるでしょうか。	業務指示書別紙第 2 ‘7.成果品等’に挙げる成果品のうち、以下のとおり、「 <u>英文</u> 」の成果品をすべて「 <u>仏文</u> 」へ変更させていただきます。なおプロポーザル見積書の作成にあたり、翻訳費用(和文⇄仏語)の積算は基本的に可能ですが、仏語の十分な語学能力を有する業務従事者が含まれ、和文⇄仏語への資料の翻訳が可能と判断できる場合はその限りではありません。詳細は契約交渉時に確認させていただきます。 (1)業務計画書:和文 3 部 (2)インセプション・レポート: <u>仏文</u> 1 部 (3)現地調査結果概要:和文 1 部 (4)準備調査報告書(案): <u>仏文</u> 1 部 :和文 1 部 (5)概略事業費(無償)積算内訳書:和文 2 部 (※コスト縮減検討資料、事業費他ドナー比較資料含む) (6)概要資料:和文 1 部及び CD-R1 枚 (※完成予想図を含む。) (7)準備調査報告書(※完成予想図を含む。) :和文(製本版) 8 部及び CD-R1 枚 : <u>仏文</u> (製本版) 15 部及び CD-R2 枚 :和文(簡易製本版) 2 部及び CD-R1 枚 (8)デジタル画像集:CD-R2 枚(デジタル画像 40 枚程度) (9)入札図書作成参考資料: <u>仏文</u> 1 部、CD-R1 枚

以上